

平成28年度 授業改善結果の検証について

学校名 中央区立 月島第一小学校

校長名 三 木 滋

<p>授業改善の 基本方針</p>	<p>取組範囲 () 全教科・() 学習力サポートテストの教科・(○) 重点教科 校内研究の「国語」と指導方法工夫改善の「算数」の授業改善を重点的に行う。 ・国語では、『話すこと・聞くこと』を中心に対話型の指導の工夫を行う。 ・算数では、思考力・表現力の向上と数学的な考え方が育つ、学習指導の工夫を行う。</p>	
<p>授業改善の 主な取組</p>	<p>重点的に取り組んだ方策・特色ある取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア、トリオ、グループで話し合う活動を多く取り入れ、発言やスピーチ後に質問・感想を話し、繰り返し表現することと聞く意識を育てた。 ・基礎基本を徹底するため、授業の最後に習熟問題に取り組ませる。 ・問題解決学習で数学的な考え方を育む。 	<p>成果または課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○じっくり考える時間を確保したことで自分の考えをもつことができた。小集団を通して、一人一人が発言することができた。 ○一人で書くことが困難な児童も友達との対話を通して、詳しく書くことができた。 △問題解決学習に時間をかけ過ぎて、基礎基本の定着が図れなかった単元があった。
<p>個に応じた 指導の工夫</p>	<p>重点的に取り組んだ指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の反応を想定し、つまずきに対するヒントカードや助言を準備した。 ・保護者に宿題の意図を知らせあきらめがちな児童に自信を持たせるようにする。 ・学習指導補助員と連携し、特別支援対象児童向けに具体物や視覚的な情報を取り入れた。掲示物で学習や一日の流れ、学習の中で大事な言葉などを一目見て分かるようにした。 	<p>成果または課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文字の読み書きが苦手な児童も学習の流れが分かり学習に取り組むようになった。 ○個別の宿題や休み時間の補習を行うことで底上げを図ることができた。 △ノートの使い方は、1冊目までは、そろえることができたが、進路が早まると、共通して丁寧に仕上げることに差が出てしまった。 △既習事項の積み重ねが不十分で個人差がついてきている。
<p>授業改善の 検証方法</p>	<p>当てはまる項目に○を付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> (○) 管理職による授業観察の検証 (○) 教員相互での授業参観による検証 (○) 校内研究での検証(研究授業等含む) (○) 学習力サポートテスト、定期テスト等の結果による検証 (○) 作品や提出物の評価による検証 (○) 学校評価における教員の自己評価の検証 (○) 保護者及び児童・生徒アンケートによる検証 () 外部評価委員会における検証 () その他< <p style="text-align: right;">></p>	
<p>授業改善の 主な結果</p>	<p>当てはまる項目に○を付けてください。</p> <p><児童・生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> (○) 学習意欲がより高まった。 (○) 基礎的・基本的な学習内容がより定着した。 (○) 知識・技能の活用能力や問題解決能力が高まった。 (○) 学力(学習の到達度)の向上が図られた。 <p><教員></p> <ul style="list-style-type: none"> (○) 指導の工夫や教材開発が図られるようになった。 (○) 授業の指導技術が向上した。 (○) 個に応じた指導がより一層図られるようになった。 () その他< <p style="text-align: right;">></p>	

* 各学校の報告資料等があれば添付願います。